



## 安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	26-2824-6	版	1.00
発行日	2022/07/14	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

## 化学品及び会社情報

### 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> クリーントレース<sup>TM</sup> ATP測定用試薬

### 3M スtockナンバー

GH-6205-2095-3 JH-2001-8558-7

7100074110 7010603925

### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	医療用製品技術部
電話番号	042-779-2371

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

41-8203-6, 42-0032-5

## 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本

国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	41-8203-6	版	1.00
発行日	2022/06/27	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Clean-Trace<sup>™</sup> Swabbing Solution

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	医療用製品技術部
電話番号	042-779-2371

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

適用しない。

##### シンボル

適用しない。

##### ピクトグラム

適用しない。

#### 危険有害性情報

H402 水生生物に有害

#### 注意書き

#### 安全対策

P273 環境への放出を避けること。

**廃棄**

P501

内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
混合物（非有害性）	なし	80 - 100
プロピレングリコール	57-55-6	1.0 - 10
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	< 0.5

**4. 応急措置****応急措置****吸入した場合**

応急処置は不要。

**皮膚に付着した場合**

応急処置は不要。

**眼に入った場合**

応急処置は不要。

**飲み込んだ場合**

応急処置は不要。

**予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

**応急措置を要する者の保護に必要な注意事項**

適用しない。

**5. 火災時の措置****消火剤**

製品は燃焼しない。

**使ってはならない消火剤**

情報なし。

**特有の危険有害性**

本製品では予想されない。

**消火作業者の保護**

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

**6. 漏出時の措置**

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

環境への放出を避けること。

**保管**

特別な貯蔵条件はない。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
プロピレングリコール	57-55-6	AIHA	TWA(エアロゾルとして):10 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

**ばく露防止策****設備対策**

適用しない

**保護具**

**眼の保護具**

特に必要としない。

**皮膚及び身体の保護具**

化学防護手袋は不要。

**呼吸用保護具**

特に必要としない。

**9. 物理的及び化学的性質****基本的な物理・化学的性質**

外観	液体
物理的状态:	溶液
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	6.3 - 6.75
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	引火点なし
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1 [参照基準: 水=1]
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない

**ナノパーティクル**

この製品はナノパーティクルを含有しない。

**10. 安定性及び反応性**

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

未確定

#### 混触危険物質

未確定

#### 危険有害な分解物

物質 条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

##### 皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

##### 吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

##### 飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

## 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
プロピレングリコール	皮膚	ウサギ	LD50 20,800 mg/kg
プロピレングリコール	経口摂取	ラット	LD50 22,000 mg/kg
クロルヘキシジングルコネート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	ラット	LD50 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	ウサギ	刺激性なし
クロルヘキシジングルコネート	ウサギ	刺激性なし

## 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	ウサギ	刺激性なし
クロルヘキシジングルコネート	ウサギ	腐食性

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	ヒト	区分に該当しない。
クロルヘキシジングルコネート	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するのに十分なデータが無い。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
プロピレングリコール	In vitro	変異原性なし
プロピレングリコール	In vivo	変異原性なし
クロルヘキシジングルコネート	In vitro	変異原性なし
クロルヘキシジングルコネート	In vivo	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	皮膚	マウス	発がん性なし
プロピレングリコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし

## 生殖毒性



## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/日	2 世代
プロピレングリコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/日	2 世代
プロピレングリコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1, 230 mg/kg/日	器官発生期
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 30 mg/kg/日	妊娠期間中

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
クロルヘキシジングルコネート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1, 370 mg/kg/day	117 日
プロピレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 5, 000 mg/kg/day	104 週
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	NOAEL 0.89 mg/kg/day	1 年
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 71 mg/kg/day	2 年
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	造血器系   腎臓 および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 71 mg/kg/day	2 年

## 誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 3：水生生物に有害。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
プロピレングリコール	57-55-6		実験	10 日	LC50	6,983 mg/kg (乾燥重量)
プロピレングリコール	57-55-6		実験	96 時間	LC50	18,800 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	EC50	19,000 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	40,613 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	18,340 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	15,000 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	13,020 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	バクテリア	実験	18 時間	NOEC	>20,000 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	液状化	実験	3 時間	EC50	25 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.081 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.087 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	2.08 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.007 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.021 mg/l

#### 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 %BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生分解性	64 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	95.8 DOC除去%	OECD テストガイドライン 306 (海水中生分解性試験)
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	71 重量%	OECD 301A - DOC Die Away 試験

#### 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.07	EC A.8 Partition Coefficient
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.81	非標準的な手法

#### 土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

### 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

適用しない。

#### 主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 16. その他の情報

### 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-0032-5	版	1.00
発行日	2022/06/27	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Clean-Trace<sup>™</sup> FORMULA 14 LSE ENZYME

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	医療用製品技術部
電話番号	042-779-2371

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

有害区分に該当しない。

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

適用しない。

##### シンボル

適用しない。

##### ピクトグラム

適用しない。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
混合物 (非有害性)	なし	80 - 100

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

応急処置は不要。

#### 皮膚に付着した場合

応急処置は不要。

#### 眼に入った場合

応急処置は不要。

#### 飲み込んだ場合

応急処置は不要。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素

二酸化炭素

#### 条件

燃焼中

燃焼中

### 消火作業員の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気での場所を換気する。他のセクションの使用上の注意を見る。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 水で残さを清浄する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

環境への放出を避けること。

**保管**

特別な貯蔵条件はない。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

**ばく露防止策****設備対策**

適用しない

**保護具****眼の保護具**

特に必要としない。

**皮膚及び身体の保護具**

化学防護手袋は不要。

**呼吸用保護具**

特に必要としない。

**9. 物理的及び化学的性質****基本的な物理・化学的性質**

外観	液体
物理的状态:	溶液
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	6.24 - 6.42
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C

引火点	引火点なし
蒸発速度	適用しない
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	適用しない
燃焼点（上限）	適用しない
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	データはない。
比重	1 [参照基準：水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	データはない。
モル重量	適用しない

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

知見はない。

#### 混触危険物質

知見はない。

#### 危険有害な分解物

##### 物質

知見はない。

##### 条件

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

##### 皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

##### 吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

##### 飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性／刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 呼吸器感作性または皮膚感作性

##### 皮膚感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

##### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。



**生殖細胞変異原性**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

**発がん性**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

**生殖毒性****生殖発生影響**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

**標的臓器****特定標的臓器毒性、単回ばく露**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

**特定標的臓器毒性、反復ばく露**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

**誤えん有害性**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

**12. 環境影響情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

**生態毒性****水生環境有害性 短期（急性）**

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

**水生環境有害性 長期（慢性）**

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

**残留性・分解性**

試験データはない。

**生体蓄積性**

試験データはない。

**土壌中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意****国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

適用しない。

**主な法規制物質****法規名**

成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

**16. その他の情報****改訂情報**

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（こ

れらに限定されるものではありません) 適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。